

# 第72回長野県図書館大会 ご案内

期 日 令和4年(2022年)10月29日(土)  
時 間 午前9時30分～午後3時30分  
(受付開始：午前9時)

開催地 飯田市



飯田市無形文化財「黒田人形芝居」

長野県図書館大会企画運営委員会

## 第 72 回長野県図書館大会開催要項

### 1 大会テーマ

「一人ひとりによりそう図書館になろう  
～読書の意味を再考し、図書館の役割やあり方を考える～」

### 2 大会趣旨

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、暮らしの根本である人と人のかかわり方を大きく変えることになりました。大人の働き方だけでなく、子どもたちの学ぶ環境も急速にデジタル化が進み、この流れはコロナが終息した後も変わらないことが予想されます。

また、気候変動による気象災害の激甚化や農林水産業への影響などが、目に見える形で表れ始めており、持続可能な社会を目指す取り組みが大きく取り上げられています。

社会が大きく変化する中、人が幸せに暮らしていくためには、自ら考え学び続けていくこと、地域の中で人と人が関わりながら共に活動していくことが必要とされています。

図書館で、コロナ禍に多くの人々が求めたのは現代の古典ともいえる文学や哲学等の作品でした。また、自己実現や課題解決のための情報が求められました。

今大会では、絵本や物語、文学や人文分野の読書を通して心を豊かにすることと、暮らしや地域を豊かにするために、必要とする情報を入手して活用するという2つの側面から、図書館が一人ひとりの読書や、知ることと学ぶことにどう応えられるかについて考えたいと思います。

図書館はどんな時代にあっても、誰にとっても、どの年代の人にとっても、一人ひとりの思いや暮らしによりそう存在でありたい。大きな変化の時に、あらためて人にとって読書とは何かを問い直すと共に、家庭や学校、地域で活用される図書館づくりを考えます。

### 3 期 日

《期 日》 令和4年(2022年)10月29日(土)

《時 間》 午前9時30分～午後3時30分(受付 午前9時～)

※大学専門図書館部会及び高等学校図書館協議会の日程等については別に記載してあります。

### 4 会 場

\*どの会場にもお申込みいただけます。

	地区	会場	講演会	分科会
メイン会場	南信	飯田文化会館	大ホール	1、2
サテライト 会場	東信	長和町役場	オンライン視聴	1
		佐久穂町生涯学習館「花の郷・茂来館」	オンライン視聴	2
	中信	塩尻市立図書館	オンライン視聴	1
		安曇野市中央図書館	オンライン視聴	2
北信	県立長野図書館	オンライン視聴	1、2	

## 5 主 催

長野県教育委員会 長野県図書館協会

## 共 催

飯田市教育委員会 飯田下伊那図書館協会 長野県高等学校図書館協議会  
公益社団法人信濃教育会 公益社団法人下伊那教育会 下伊那校長会

## 後 援

長野県市町村教育委員会連絡協議会 長野県 PTA 連合会  
長野県小学校長会 長野県中学校長会 長野県高等学校長会  
長野県社会福祉協議会 飯伊市町村教育委員会連絡協議会

## 6 問い合わせ先

第 72 回長野県図書館大会事務局（飯田市立中央図書館）

〒 395-0034 飯田市追手町 2-677-3

電話：0265-22-0706 Fax：0265-22-0235 メール：iida@nanshin-lib.jp

ホームページ：https://www.iida.nanshin-lib.jp/

## 7 参加者

(1) 図書館その他読書施設の勤務者、関係者

公共図書館 公民館図書室 小学校・中学校・高等学校図書館 大学・短期大学等附属図書館  
議会・病院・団体等の図書館

(2) 教育委員会の職員 図書館協議会の関係者 議会議員

(3) 保護者会・婦人会・婦人文庫・高齢者クラブ・ボランティア・NPO等の方々、企業関係者

(4) 学びや図書館のこれからについて関心のある方々

など、どなたでも参加できます。

## 8 日 程

9:00	9:30	9:45	9:50	11:30	12:30	15:30
受付	開会式		基調講演 新井紀子先生	昼食	分科会	閉会式

## 9 基調講演 9:50～11:30

### 演 題 「AI 時代を生きるための力

### ～読解力の重要性と読書の意義～

#### 講 師 新井紀子 氏

国立情報学研究所 社会共有知研究センター センター長・教授  
一般社団法人 教育のための科学研究所 代表理事・所長

#### 会 場 飯田文化会館 (サテライト会場はオンライン視聴となります)



##### 【プロフィール】

東京都出身。一橋大学法学部、米イリノイ大学数学科卒業。イリノイ大院を経て、東京工業大学博士（理学）。

専門は数理論理学。2011年から人工知能(AI)プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」を主導。

2016年からは読解力を診断する「リーディングスキルテスト」を開発。研究者情報システム researchmap の研究開発も担う。

『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』、『AI に負けない子どもを育てる』など著書多数。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、デジタル化やオンライン化が急速に進むことにつながりました。そんな中、将来へとつながる子どもの学びが問われています。

学校では子どもたちの「文章を読んで想像する力」が衰えていると感じている教員も少なくありません。文章や言葉を読み取り、深く考えてイメージを膨らませることができない。言葉によるコミュニケーションがうまくとれない。そんな声が聞かれます。

社会が大きく変化する中、子どもにとっても大人にとっても「読む」とはどういうことか、「読む」力が、人が生きていく上でのどういう力につながるのかを再考する必要があります。ものごとを能動的に考え、自ら想像（創造）できる人を育てるためには、どのように読むことが必要でしょうか。

この講演を、参加される方それぞれの立場で何ができるかを考える契機としたいと思います。

## 10 分科会 第1分科会～第4分科会 12:30～15:30

\*館種ごとの分科会ではなく、テーマごとの分科会とします。

\*第1分科会と第2分科会はどちらかのみ選択となります。

別日程の第3分科会と第4分科会は重複してお申し込みができます。

### 【第1分科会】

<p><b>テーマ・趣旨</b></p>	<p>「読書と人をつなぐために ～人にとって読書とは何かを問い直すとともに、家庭や学校、地域で活用されるために図書館は何ができるかを考える～」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活を豊かで充実したものにするために読書は大切と言われますが、コロナ禍で多くの図書館が休館を余儀なくされ、読みたい人への本の提供が十分にできませんでした。改めて読書の意義が問われています。この機会に今一度、読書とは人にとって一体どのようなものなのか、一緒に考えてみましょう。</li> <li>読書や図書館が身近なものになるために、私たちは誰に対して何をどう提供していったらよいのでしょうか。様々な読書の形や取組の具体例を事例発表し、一人ひとりの読書にどう寄りそっていくことができるか意見交換・情報交換を行い、これからの取組に生かしたいと思えます。</li> </ul>		
<p><b>事例発表</b> *会場間をオンラインで結んで開催</p>	<p>(A)〔子どもの読書〕 「こどもの読みたい気持ちを育てるために～自発的な読書習慣の形成に向けて～」 玉井 君枝（飯田市立松尾小学校） 読みきかせは多くの地域や学校で取り組まれているが、「読んでもらう」から「自分で読む」ための取組が必要とされている。本の楽しさを知ることと、おはなしの本を読む力をつけるための、学校図書館と公共図書館による共同の取組である飯田市学年別図書リスト「よむリス」の実践について。</p> <p>(B)〔本の楽しさを共有する（大人の読書）〕 「本について語り合うことの楽しさ 読書会の魅力」 磯村 裕子（飯田下伊那読書会交流会実行委員会） 読書会による読書は、他の人の考えを聞いたり話し合ったりすることで、一人で読むだけでは得られない深い学びが得られる。みんなで読むことから広がる読書の楽しさを考える。</p> <p>(C)〔読書・図書館を身近なものに〕 「図書館機能が外に飛び出す～交流を生む多目的な移動図書館～」 志賀 アリカ（小布施町立図書館） 来館が困難な人へ「読書の豊かさを届け続ける」使命に加え、地域の人や「知」の「交流拠点」としての機能も兼ね備えた移動図書館の取組。住民の「知りたい・やりたい・出会いたい・繋がりたい」を応援するための工夫とは？</p>		
<p><b>意見交換</b> *会場ごと</p>	<p>会場の中で次のテーマに分かれて意見交換をします。<u>申込時にご希望のテーマの記号を選択してください。</u></p> <p>(A) 子どもの読書 (B) 本の楽しさを共有する（大人の読書） (C) 読書・図書館を身近なものに</p>	<p>◇話し合いの柱◇</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「読書」って何だろう</li> <li>2 本を読めない・読まない原因、 どんなことが求められている？</li> <li>3 それぞれが何ができるか</li> </ol>	
<p><b>情報共有</b></p>	<p>・会場間をオンラインで結んで情報共有・まとめ</p>		
<p><b>会場</b> *どの会場へもご参加いただけます。</p>			
<p><b>南信</b></p>	<p><b>北信</b></p>	<p><b>中信</b></p>	<p><b>東信</b></p>
<p>飯田文化会館</p>	<p>県立長野図書館</p>	<p>塩尻市立図書館</p>	<p>長和町役場</p>



【第3分科会・大学専門図書館部会】 \*別日・別会場開催です。

テーマ・趣旨	「ウィズコロナ対応の変化～これまでとこれから～」
事例発表	中西悠（松本大学図書館） 水津幸江（信州大学教育学部図書館）
意見交換	Web会議（Zoom使用）
日時	10月28日（金曜日）午後1時30分～3時30分
会場	Web会議（Zoom使用）

【第4分科会・高等学校図書館協議会】 \*別日・別会場開催です。

テーマ・趣旨	高校図書館と授業の連携
事例発表	米山直実（木曾青峰高校）「国語科の授業と図書館との連携」 内堀明子（東御清翔高校）「特別支援教育と図書館」
意見交換	Web会議（Zoom使用）
日時	11月11日（金）午後1時～3時30分
会場	Web会議（Zoom使用）

## 11 参加申込要領

(1) 参加費（参加資料代を含む） 2,000円

\*講演会のみ参加 1,000円 \*第3・4分科会のみ参加 1,000円

\*分科会を複数お申し込みいただいた場合も2,000円です

※お申し込み後の参加費は、原則としてお返しできません。（大会資料はお届けします）

(2) 参加申し込み方法

① <b>ながの電子申請よりお申し込み</b>	<b>申込期間 8月1日（月）～9月16日（金）</b> *講演会のみのお申し込み 8月1日（月）～9月30日（金）
-------------------------	---



参加申込



講演会のみ申込



\*上記QRコードまたは、[飯田市立図書館ホームページ](https://www.iida.nanshin-lib.jp/)（<https://www.iida.nanshin-lib.jp/>）からお申し込みください。

\*電子申請での申し込みができない場合はFAX又は郵送で参加申込書をお送りください。

参加申込書は飯田市立図書館ホームページからダウンロードできます。

② <b>参加費 銀行振込</b>	<b>入金期限 9月 30日（金）</b>
振込先：八十二銀行 本店営業部 普通口座 1217731 口座名義 長野県図書館大会企画運営委員会 委員長 宮下明彦 (ナガノセントショカントイカイキカクウンエイインカイ インチョウ ミヤシタアキヒコ)	

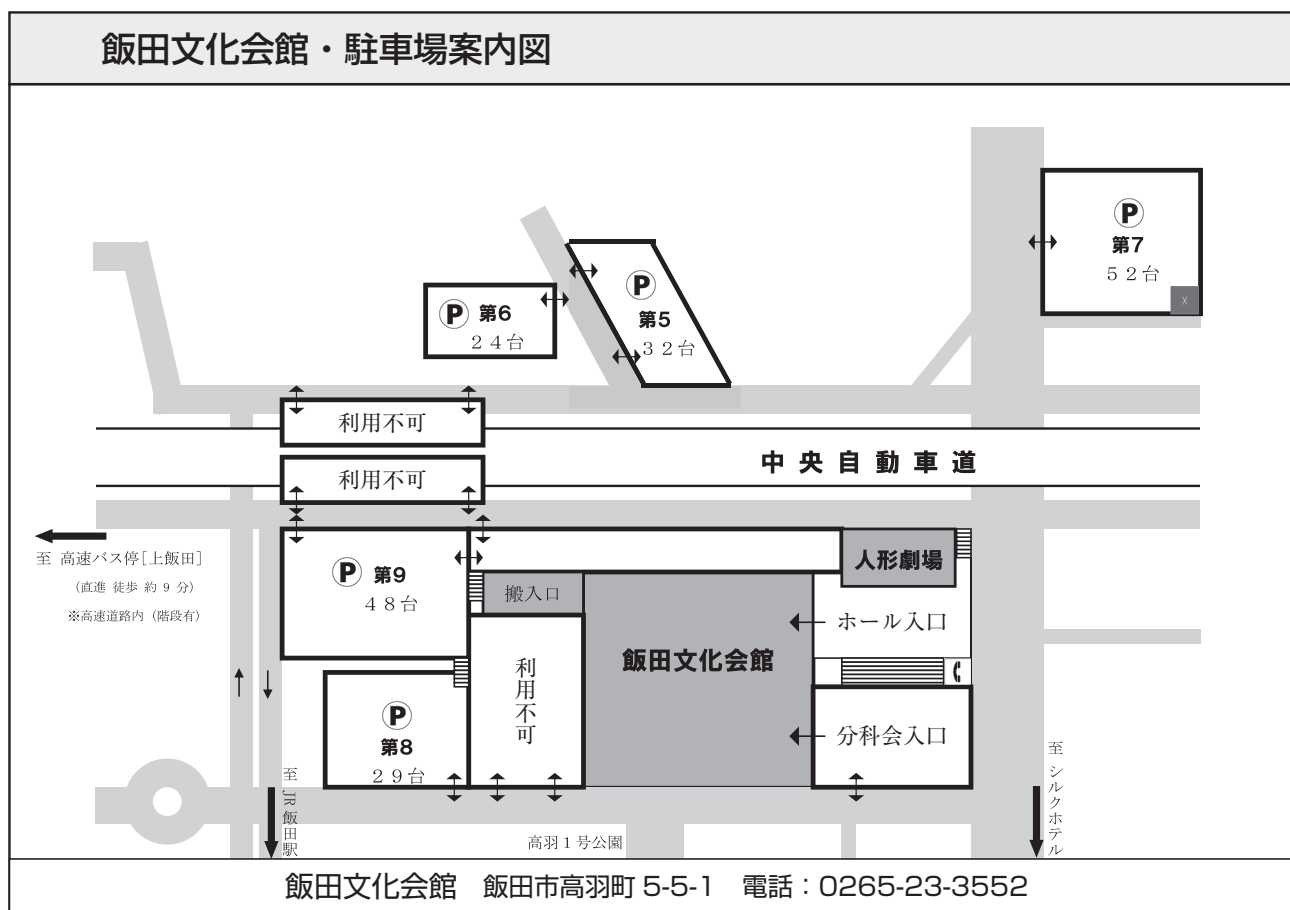
\*振込手数料はご負担願います。領収書は銀行の受取りで代えさせていただきます。

請求書・領収書が必要な場合は参加申込書の連絡事項に記入してください。

\*銀行振込が不可能な場合は現金書留でお送りください。

## 12 諸連絡

- (1) 駐車台数に限りがあります。なるべく乗り合わせてお越しください。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により大会の開催方法、内容、会場、人員等を変更する場合があります。変更の場合は、飯田市立図書館ホームページに掲載します。  
またご参加の際は、感染対策にご協力ください。
- (3) 大会資料は、当日、各会場の受付でお渡しします。
- (4) 長野県図書館協会のホームページでも大会のご案内を掲載しています。
- (5) 昼食は各自でご用意ください。



<p><b>県立長野図書館</b> 長野市若里 1-1-4 026-228-4500</p>	<p><b>長和町役場</b> 小県郡長和町古町 4247-1 0268-68-3111</p>	<p><b>塩尻市立図書館</b> 塩尻市大門一番町 12-2 塩尻市市民交流センターえんぱーく 0263-53-3365</p>
 <p><b>ぼお</b> いいだ人形劇フェスタ 公式マスコットキャラクター</p>	<p><b>佐久穂町生涯学習館 「花の郷・茂来館」</b> 南佐久郡佐久穂町大字海瀬 2570 0267-86-2041</p>	<p><b>安曇野市中央図書館</b> 安曇野市穂高 6765-2 穂高交流学習センター「みらい」内 0263-84-0111</p>